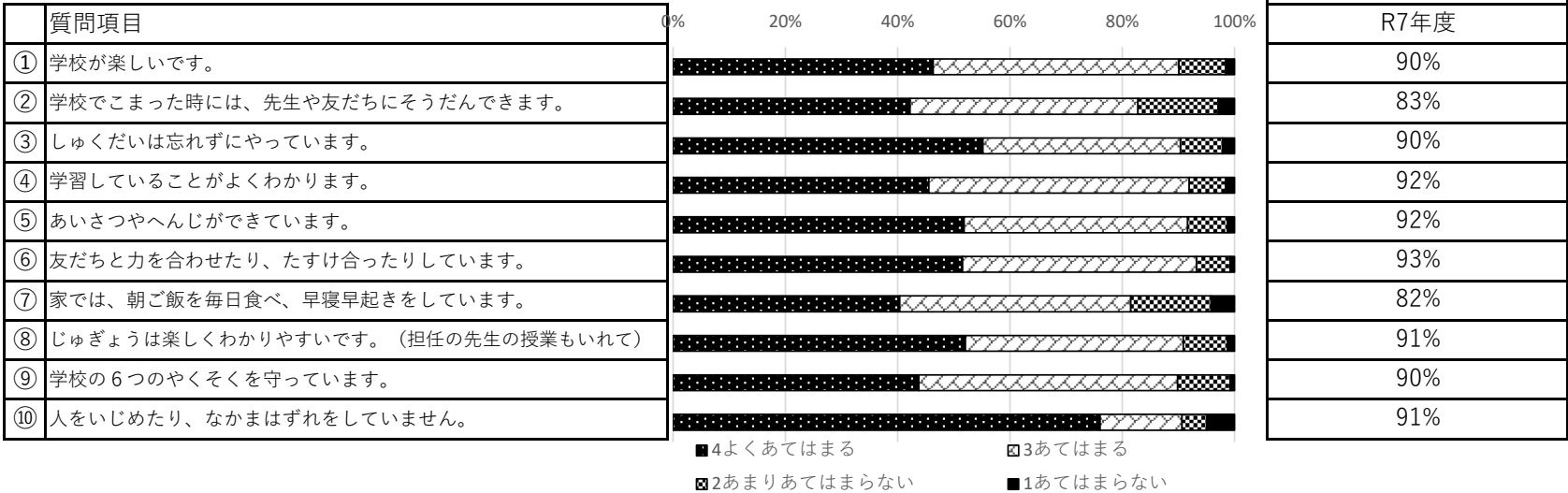


令和7年度学校評価アンケート

12月に実施しました児童及び保護者の皆様のアンケート結果です。分析結果を踏まえ、来年度に向けて改善していけるよう検討してまいります。

大津市立石山小学校

児童評価



・全ての項目において肯定的意見が80％を超える結果となりました。昨年と比べ、多くの項目は1％程度の増減で大きな変化はありませんでしたが、3％以上上回る結果となった項目もあります。大きな変化はないものの、気になる項目もありますので、今後も引き続き児童理解の取組を進めてまいります。

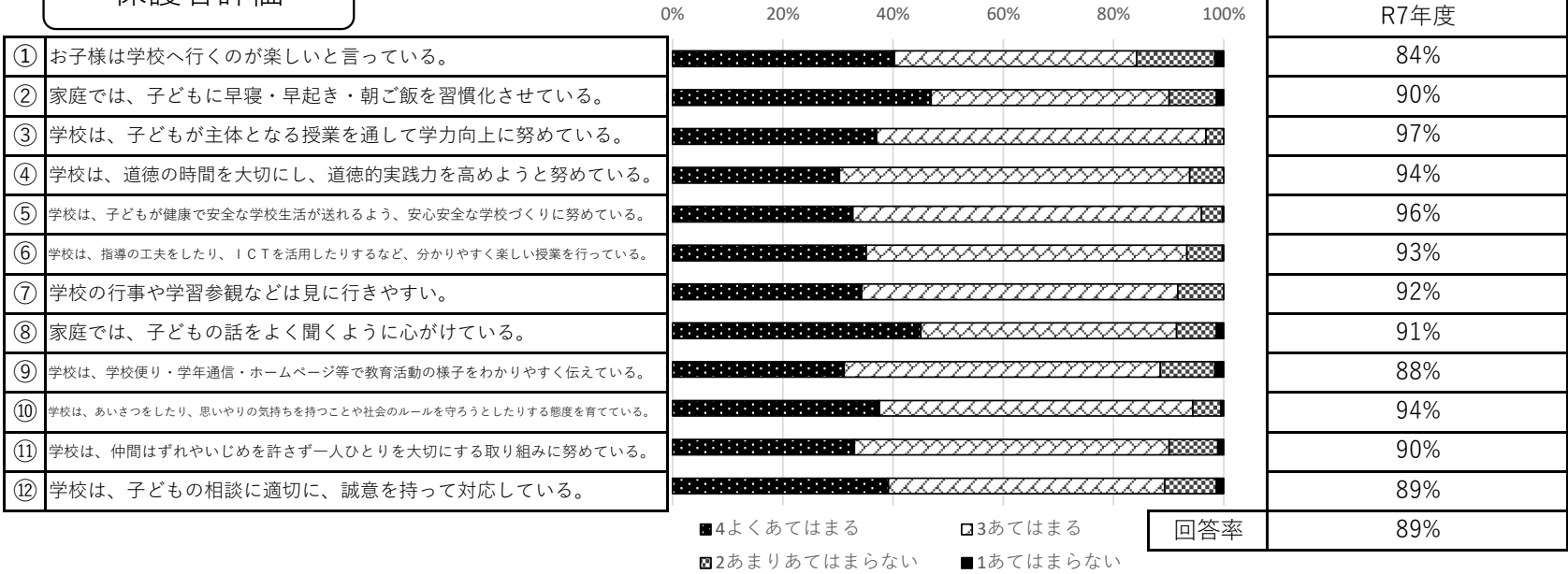
・②「学校でこまった時は、先生や友だちにそうだんできます。」の項目は昨年度に比べて4ポイント上昇しています。昨年度唯一の70％台だったこともあり、教科担任制の取組や担任だけでなく担任外も積極的に子どもたちの悩みに寄り添うような取組を進めた結果だと考えます。しかし、まだ80％台前半のポイントです。今年度の取組を継続しながら更に児童に寄り添った取組を進めてまいります。また、子どもが、相手の思いや考えを理解できるような取組も継続して進めていきます。

・⑥「友だちと力を合わせたり、助け合ったりしています。」は全項目中で一番高い値です。例年、この項目は高い数値を示しており、石山小学校の子どもの特徴と言えます。道徳教育を中心に相手のことを思いやる豊かな心を育む教育に長年取り組んできた成果と考えます。子どもたちの支持的な風土をこれからも維持向上するために、学級での取組、学年での取組、学校での取組を継続してまいります。

・⑦「家では、朝ご飯を毎日食べ、早寝早起きをしています。」の項目は全項目中で一番低い値となっています。朝から気持ちよく元気に登校できる子がたくさんいる一方で、朝から元気がなく登校する児童もいます。家庭での様子を聞くと、就寝時間が遅く朝気持ちよく起きられなかったことが理由のことがよくあります。学校では、基本的な生活習慣を整えることの重要性等を学校だよりや保健だよりを通じて発信していますが、就寝時間が遅い児童が年々増えている印象です。更なる啓発に努め子どもの生活習慣の改善に努めてまいります。

・⑩「人をいじめたり、なかまはずれをしていません。」の項目は、肯定的な回答の内訳に特徴があります。他の項目に比べて、「よくあてはまる」と回答した割合が突出して高くなっています。この項目は⑥の項目とともに、石山小学校の子どもの特徴と言えます。外部講師を招いていじめ防止教育を行ったり、年間3回のいじめ防止強化月間の取組を通じて子どもたちの理解を高めていることや、道徳教育を通して相手の心情を理解して行動することの大切さを考える機会を設けていることが高い値を作っていると考えます。ただ、一方で理解が進んだとしても「いじめ」が0にならないのも事実です。子どもたちは「いじめ」をしてはいけないと理解してはいるが、自分の行動と結びつけることができない場合もあります。現在の取組を継続し、新たな「いじめ」をださないために、複数の目で子どもを見守り、情報共有することで早期発見、早期解決につなげていきます。

保護者評価



・今年度の回答率は89％でした。昨年度に引き続き大変多くの方々に回答いただきありがとうございました。本校の教育活動に興味関心を持っていただけたことをうれしく思います。また、すべての項目において肯定的な回答を多数いただきました。学校の取組について肯定的にとらえていただいていることに感謝いたします。昨年と比べて5ポイント以上推移した項目はありませんが、今年度の特徴をとらえて、今後の教育活動に活かしてまいります。

・①「お子様は学校へ行くのが楽しいと言っている」の項目は、全項目中で一番低い値となっています。次に低い項目が88％なので突出して低いことがわかります。この項目は全項目中で大切な項目だと考えます。いじめ防止強化月間や教育相談などの取組や道徳教育を通じて子どもに寄り添い、自己肯定感や自己有用感を育成する教育に取り組んでいます。今以上に保護者の皆様に通信や参観を通じて周知していきたいと考えます。また、子どもの様子を保護者と連携をとり、必要であればスクールカウンセラーや各種機関とも連携して取組を進めてまいります。学校は保護者の皆様との信頼関係が大切であるということを念頭に置き、家庭との連携を重視し、改善に努めていきます。

・③「学校は子どもが主体となる授業を通して学力向上に努めている」は、全項目中で肯定的な回答が一番高い回答をしていただいています。また、⑥「学校は授業の工夫をしたり、ICTを活用したりするなど、分かりやすく楽しい授業を行っている」においても昨年度同様高い評価をいただいています。本校では、以前より取り組んでいる授業スタイル「石山スタンダード」を継続しながら、子どもの学力向上につながるように読み取ることを重点にした国語教育を推進してきました。このような取組が保護者の皆様にご理解を得ていると考えます。今後、自信をもってより一層学力向上の取組や、分かりやすく楽しい授業をするための取組を進めてまいります。

・⑧「家庭では、子どもの話をよく聞くように心がけている」については、昨年度から4ポイントの上昇がみられました。ご家庭で子どもの話にじっくりと耳を傾けていただくことは、子どもが安心して毎日を過ごすために大切なことです。子どもの思いに寄り添っていただいて、気になることがあれば、早期にご相談いただければと考えます。

・自由記述として「自分のお子さんの成長を願って、ご家庭で取り組んでいらっしゃることに」に記述していただきました。紙面の関係ですべてを取り上げることはできませんが、「やってみたいと言った事には、可能な限りチャレンジ出来るように準備したり機会を与えたりしています。」「帰ってからその日あった様々な事を、一気に話し続ける時間があります。あまり否定することはせず、うんうんと傾聴するようにし子どもの気持ちの受け止めをしています。」など各家庭でお子さんの成長を願って取り組みをされていることがよくわかりました。ご家庭によって取り組みは様々ですが、いずれも「子どもの自立」につながる大切なことだと感じました。学校は、このアンケートで回答いただいた保護者の思いや願いを踏まえて、教育活動にあたることを重要であることを再認識しました。